

教育と文化

分野5 | 魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち

小学校数・児童数 (R4.3.1)

中学校数・生徒数 (R4.3.1)

6校 **917**人 & 3校 **504**人

※橋立中は町民のみ

適正規模・適正配置

平成28年5月に策定した「学校等の適正規模適正配置に関する基本方針【改訂版】」では、令和3年度の児童数を942人と推計しており、想定より少子化が進んでいます。こういった状況の中、加悦地域の3小学校については、同方針で掲げた統合年度から1年を前倒して再編を行い、令和2年4月に新たな加悦小学校を配置しました。令和3年度に同校で実施したアンケート調査においては、86%の児童と93%の保護者から「再編して良かった」または「どちらかといえば良かった」と肯定的な回答が得られました。また、心身ともに健やかな子どもの育成を図る観点から、いじめ実態調査や学級満足度調査、人権アンケートを実施し、児童生徒の実態把握に努め、安心して過ごせる居心地のよい学級づくり、学校づくりを進めるとともに、特別支援教育を一層充実させ、発達の種類や適応の状況に応じた支援や指導を行いました。

ふるさとへの愛着

小中学校においては、「総合的な学習時間」を中心に、多彩なテーマでふるさとを教材にした課題解決学習に取り組んでおり、全国学力学習状況調査の地域行事の参加に係るアンケートでは、小学校では88%（全国58%）、中学校では85%（全国44%）の児童生徒から、肯定的な回答が得られました。また、宮津天橋高校加悦谷学舎がより魅力ある高校となるため、学校と行政が連携し、高校魅力化推進事業を実施しました。令和元年度からは魅力化コーディネーターを配置し、探究学習やキャリア教育等を通じ生徒の地域理解を深めました。これらの取り組みにより、アンケート結果では7割以上の生徒が「郷土への愛着を感じている」と回答するなど、郷土愛の醸成を図ることができました。

地域の行事に参加している児童・生徒の割合

小学校 **88**% 中学校 **85**%

生涯学習講座・公民館講座等開催回数 (R3)

274回/年

与謝野町公民館連絡協議会の設立によって、公民館が主体となった公民館活動の推進体制が構築されました。協議会主催による研修会では、生涯学習を推進する人材を育成。公民館活動は、知遊館・中央公民館・加悦地域公民館では全町・地域単位、地区公民館では地区単位を主な対象としてさまざまなテーマで実施されました。町の自然や特有の文化に親しむ機会づくりを行ったことにより、受講者の郷土への愛着を深めたほか、講座を通じて受講者を中心としたサークルも立ち上がるなど活発に展開されています。

生涯学習の担い手育成

シリーズ みんなでつくる総合計画 vol.2

続・数字とキーワードで見るまちづくりの現在地。

前月号に引き続き
第2次総合計画・前期基本
計画の残り4分野について
数字とキーワードで
振り返ります。

出産と子育て

分野4 | つながりで笑顔を未来につむぐまち

期間合計特殊出生率 (R3)

年間出生数 (R3)

1.26 & **91**人

切れ目のない支援

平成30年の計画開始時から微減傾向で推移している期間合計特殊出生率・出生数に歯止めをかけるべく、子育て応援課に「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援体制を構築。産後6ヵ月までの母子を対象とした「産後リフレッシュ事業」は、産婦の半数以上が利用し100%の満足度が得られました。また、各家庭に合った出産・子育てプランを両親と保健師と一緒に作成したほか、妊娠中・子育てに使えるグッズや名前入りの器をプレゼントする「ハローベビープロジェクト事業」を実施。さらに、令和2年度からは府内初の取り組みとして、特定不妊治療交通費助成事業も開始するなど、安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりを行いました。

子育てサービス充実

同一施設での教育・保育が受けられる認定こども園として、令和元年度に、のだがわこども園・かやこども園、令和3年度には、桑飼保育園とかやこども園を統合したつばきこども園を開園。また、早朝の時間外保育の拡充や病児保育を新たに実施したほか、0歳児の受け入れを2ヵ月から行う民間の小規模保育園開園への支援、町内6ヵ所での学童保育事業等により、多様なニーズに応えた結果、令和2年度の調査では「この地域で子育てをしたいと思う親の割合」は94.9%となりました。

この地域で子育てしたい親の割合

94.9%

地域ぐるみで育む

行政の子育て支援サービスとは別の発想で、地域等が主体となって、子どもの居場所・遊び場・交流の場づくりを行う「キッズステーション事業」を令和2年度から開始しました。3つの団体が、出入り自由な学童保育や英会話教室、地域の自然を利用した活動など、創意工夫を凝らした取り組みを展開。2年間で延べ1000人を超える子どもたちが利用し、希薄化しつつある異年齢交流や集団活動が創出される機会となりました。また、この取り組みにより、地域ぐるみで子育てする意識を高めるとともに、保護者にとっても安心して利用できる新たな子どもの居場所を提供できました。

キッズステーション延べ利用者数

1,000人